

## 令和5年度第2回長野市子育て・子育て支援検討委員会 会議録

作成：こども未来部 保育・幼稚園課

### 1 会議の名称

令和5年度第2回長野市子育て・子育て支援検討委員会

### 2 開催日時

令和5年5月24日（水）午後2時～午後4時

### 3 開催場所

長野市役所第一庁舎7階 第一・第二委員会室

### 4 出席者の所属・役職・氏名

子育て・子育て支援検討委員及びアドバイザー（別紙名簿参照）

※欠席者なし

（事務局）

|          |                  |      |        |
|----------|------------------|------|--------|
| こども未来部   | 保育・幼稚園課          | 課長   | 丸山 隆文  |
|          | こども政策課           | 課長   | 伊東 彰   |
|          | 子育て家庭福祉課（こども相談室） |      |        |
|          |                  | 室長   | 戸谷 陽子  |
| 保健福祉部    | 健康課              | 課長補佐 | 松本 真理子 |
|          | 障害福祉課            | 課長   | 穂苅 修利  |
| その他関係職員等 |                  |      |        |

### 5 議事内容

議事

（1）自由討論

### 6 議事内容

最初に資料の説明（前回のまとめ）

最初に委員長から、議事が「自由討論」ということで、どうやって進めていくべきか事務局に質問がありました。事務局からは「第1回目の意見について、もう少し自由に討論いただき、話を掘り下げたり広げながら、優先すべきことや、どこに問題があるのかなどを議論いただければいいのではないか」と提案させていただいた。

委員からの主な意見は以下のとおり

- ・特性のある子が多くなる中で、個々に関わるのではなく全体に関わるクラスづくりで集団の中で育っていくことで加配の先生などの人数は減らすことができるのではないか
- ・長野市は個々の支援は充実していると思う。横のつながりというのがないのではないか。縦のつながり（乳幼児期→保育園→小学校）も少し途切れているように思える
- ・長野市はいろんな制度がとても充実している。いろんな場所がある。けれども、それを全部知っている人が少ない。そういった資源をどう連携させて生かしていくか。そのためにはコーディネイトしてくれる人が必要。その人材の育成が必要
- ・改めて子育てガイドブックを見ると、あらためて知らないことが多い。
- ・保護者が出かけるには、お得な場所。そういうイベントとかに行ってみたら、普段の悩みが相談できる場所があった、そんなものがよいのでは
- ・横のつながりとして、問題があったら、専門職でさっとチームが作れるような、そのようなソフトやハードがあったらいいと思う
- ・妊婦さんたちが不安を抱えている。夫婦2人だけで子育てをしている状況。
- ・地域全体で子育てを支えていけるような仕組みがあるとよい
- ・2人目、3人目を考えた時に、1人ずつでないで育てることができないという親が多い
- ・子育てしながらリフレッシュができるような仕組み体制、子どもを預けて、親も楽しめるような場所
- ・昔は市役所で子育ての相談をしたいと言うと、障害福祉課を紹介されてしまった。その時に比べると、相談先がこども未来部というのは画期的。それでもまだ相談のハードルが高い。相談窓口がちょっとしたところで簡単にできるといい。
- ・専門性のあるコーディネーターのような人が相談受けられる体制がよい。今は個々の施設（制度）は充実しているが、それぞれに振り分けて終わりという感じ
- ・過去に子育てをした世代の人が、今度は支援に回れるような仕組み
- ・地域の子育て支援の拠点となるような施設が欲しい
- ・相談機関がなくても、一緒に相談したり、情報交換など身近な繋がり、励ましあったりそういう情報が活かされているのではないか
- ・今ここで集まっている人たちが、集まって何かできる、そんな場所があるといい
- ・子育て中の親が、あっちに行ったりこっちに行ったりしないで、そこで1度でできてしまう場所があるといい
- ・点になっている支援を面にしていくには、まず1か所でも総合的に相談できる場所がないと、なかなかネットワークの広がりができていかない
- ・小学生以上の子どもたちも、ほっとする場所を求めている

- ・学校集団もいいが、集団集団と、疲れてしまう子どももいる
- ・学習環境の確保、ここに来て勉強できてうれしい、そういう声もある。
- ・小学生、中学生の親も頼れる場所や相談できる場所がない。子どもの居場所、親の行き場所みたいなものがない
- ・全天候型の遊び場がない
- ・公共施設で、持ち込みでご飯が食べられるところがない
- ・お金がかかる施設にはそのうちいなくなる
- ・様々なニーズの形（中身）の話が沢山出たが、ニーズの量という観点も重要

## 7 会議資料の名称

資料1 前回の委員会での意見等のまとめ

その他 ・次第

・子育て・子育て支援検討委員会名簿